



2019年9月20日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

盛岡駅の新幹線発車メロディを変更します！

JR東日本では、盛岡駅の新幹線ホームの発車メロディを変更します。
音楽界のレジェンド、シンガーソングライターの小田和正さんの『ダイジョウブ』
を発車メロディ用にアレンジして導入します。
原曲のさわやかさをそのままに、新しい発車メロディで盛岡を感じてください。

1 導入箇所

盛岡駅 新幹線ホーム

※11番線・12番線用、13番線・14番線用の2種類のメロディを導入

2 使用楽曲

『ダイジョウブ』（作詞・作曲 小田和正）

※2007年度前期連続テレビ小説「どんど晴れ」の主題歌

※発車メロディ用への編曲・制作は、佐藤将展^{さとうしょうてん}（盛岡市在住）

3 導入期間

2019年11月1日（金）から2021年10月31日（日）までの2年間

4 発車メロディの公開

2019年10月19日（土）に開催する鉄道の日「盛岡駅まつり」において、導入する発車メロディの音源を初公開します。

（1）日時 2019年10月19日（土）10:10～10:20頃

（2）場所 盛岡駅 滝の広場 イベントスペース

（3）内容 発車メロディ用に制作した2種類の音源を公開

5 導入経緯

2020年11月1日に盛岡駅開業130年を迎えるにあたり、「新幹線に乗るときも、盛岡らしさを感じてほしい」との思いから、盛岡にゆかりのある素敵な楽曲を発車メロディにできないかと盛岡駅にて検討を進めてまいりました。

この思いに、小田和正さまのご協力を得ることができ、今回の発車メロディ導入が実現しました。

6 その他

新幹線ホームでの発車メロディの導入は、岩手県内の新幹線駅では、一ノ関駅に続き2例目です。他県を含めた東北新幹線の駅では郡山駅、福島駅、仙台駅、一ノ関駅、新青森駅で発車メロディを採用しており6例目です。

【小田 和正氏プロフィール】

1947年9月20日生 神奈川県横浜市出身

東北大学工学部卒業、早稲田大学理工学部建築科修士課程修了

1969年オフコース結成。翌70年、プロとして音楽活動を開始、「愛を止めないで」「さよなら」「言葉にできない」などのヒット曲を発表。82年には日本武道館連続10日間公演を実施。日本の音楽シーンに様々な記録を残しつつ、89年2月、東京ドーム公演を最後にオフコース解散。

その後、プロデュース活動を経てソロとしてアーティスト活動を再開。91年に発表したシングル「ラブ・ストーリーは突然に」は270万枚を超える大ヒット作となった。

映画やテレビ特番などの映像監督としても活躍し、これまでに「いつか どこかで」（92年）、「緑の街」（98年）の2本の映画監督作品を発表している。2001年からは毎年12月に「クリスマスの約束」（TBS）と題した音楽特番を放映し好評を博している。

2016年4月20日、オールタイムベスト「あの日 あの時」を発表し、アルバム1位を獲得。2018年～19年「KAZUMASA ODA TOUR2018 “ENCORE!”」（全国21会場48公演）更に追加の『Kazumasa Oda Tour 2019 “ENCORE!! ENCORE!! “』（全国8会場16公演）を実施し、55万人を動員する。



【佐藤 将展^{さとう しょうてん}氏プロフィール】

1959 年生 岩手県盛岡市在住 作曲・編曲家

「姫神せんせいしょん」のメンバーとしてポニーキャニオンよりデビュー。作曲、レコーディングエンジニア、ドラマーとして活動。

同グループ解散後は地元で、作・編曲者、音楽制作者としての活動を開始。

テレビ・ラジオのテーマ曲、CMソングやBGM、劇伴、歌手・アーティストへの楽曲提供などで活躍中。

～代表作～

2016 年 岩手国体イメージソング「笑顔の賛歌」

2017 年 岩手復興ドラマ「日本一小さな本屋」「冬のホタル」の使用曲 等多数